

2026 School Guide

健児一千

自由の子



 **群馬県立渋川高等学校**
Gunma Prefectural Shibukawa High School

質実剛健 堅忍持久

スクールポリシー

■グラデュエーション・ポリシー

- 学び続ける力を備えた人材の育成
- ・生涯にわたって学び続け、主体的に社会的課題の解決に取り組むことのできる資質・能力を育成します。

■カリキュラム・ポリシー

- 学び続けるために必要な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等を育成
- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、多面的・多角的に課題の探究に取り組む、思考力・判断力・表現力等を培う教育活動を推進します。

■アドミッション・ポリシー

- 渋川高校で学び、積極的に社会に参加しようとする意欲を持つ生徒を募集
- ・社会に貢献したいという志を持ち、意気高く自らの進路を切り拓き、主体的に学ぼうとする意欲を持つ心素直な生徒を求めます。

本年度の重点事項

とらわれのない心で、自分で考え・判断・行動し、
興味・関心をとことん探究できる力『“自由の子”力』の向上

- (1)「3つの心」を意識し、「“自由の子”力」の向上を具現化するべく教育活動を行う。
※「3つの心」: 思いやりの心・挑戦する心・素直な心
「“自由の子”力」: とらわれのない心で、自分で考え・判断・行動し、自分の興味・関心をとことん探究できる力
- (2) 安心して学ぶことのできる環境を整えるため、安全や美化の徹底と教育相談体制のより一層の充実を図る。
- (3) 活力ある学校づくりを推進するため、生徒主体の学校行事や部活動等の充実を図る。
- (4) 自ら学ぶ力、学び続ける力を育成するため、シラバスの積極的活用と、協働的な学習やICTを利用した授業改善を推進する。
- (5) 課題発見力や課題解決力、コミュニケーション能力を育成するため、「i Program (アイプログラム)」を軸とした探究活動を、学校の教育活動全体を通して推進する。
- (6) 保護者や中学生等に渋川高校の良さの理解を深めてもらうため、積極的な情報発信に務める。

■教育課程 令和9年度入学者（普通科 定員160名 4クラス）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1 年次	現代の 国語 2		言語文化 3		地理 総合 2		歴史 総合 2		数学Ⅰ 3			数学Ⅱ 2		数学Ⅲ 1	生物 基礎 2		物理 基礎 2		体育 3			保健 1	音楽Ⅰ 2 美術Ⅰ 2		英語 コミュニケーションⅠ 4			論理 表現Ⅰ 2		総探 1	L H R 1		
2 年次 理系	論理 国語 2		古典探究 3			公共 2		数学Ⅱ 3		数学Ⅲ 2		数学Ⅳ 1	物理 2 生物 2		化学 基礎 2		化学 1	体育 2		保健 1	英語 コミュニケーションⅡ 4			論理 表現Ⅱ 2		情報Ⅰ 2		家庭 基礎 2		総探 1	L H R 1		
2 年次 文系	論理 国語 2		古典探究 3		日本史探究 3 世界史探究 3			公共 2		数学Ⅱ 3		数学Ⅲ 2		数学Ⅳ 1	化学 基礎 2		体育 2		保健 1	英語 コミュニケーションⅡ 4			論理 表現Ⅱ 2		情報Ⅰ 2		家庭 基礎 2		総探 1	L H R 1			
3 年次 理系	論理 国語 2		古典 探究 2	地理探究 3 政治・経済 3		数学Ⅲ 5				数学Ⅳ 2		物理 5 生物 5			化学 4			体育 2		英語 コミュニケーションⅢ 4			論理 表現Ⅲ 2		総探 1	L H R 1							
3 年次 文系	論理国語 3		古典探究 3		国語探究＋英語発展 7 数学発展＋「化学発展・生物発展」 7				世界史発展 6 日本史発展 6				政治・経済 3 地理探究 3			体育 2	英語 コミュニケーションⅢ 4			論理 表現Ⅲ 3		総探 1	L H R 1										

※表中の数字は1週間の授業時数（黄色は選択科目）

進路実績 / Course Results

東京大 東北大 北海道大 筑波大 千葉大
群馬大 早稲田大 慶應大 上智大 明治大
青山学院大 など合格!

■国公立大学

大学名	令和7年度	令和6年度	令和5年度
北海道			1
東北		1	1
秋田	1	1	1
山形			2
福島	4	2	1(1)
茨城	2	1	
筑波		1	
宇都宮	1	1	
群馬	13(1)	28	31(2)
埼玉	4	1	1
千葉	1(1)		1
電気通信		(1)	
東京			2
東京外国語	1		
上越教育	1		
新潟	3	5	8
富山			(1)
金沢	2		3
信州	3	1	2
静岡	1	(1)	
神戸	(1)		
その他	3(1)	1	
国立大学 計	40(4)	43(2)	54(4)
前橋工科	3	7(1)	5
県民健康科学	1	2	1
高崎経済	11	12	10
東京都立	1		
新潟県立			1
三条市立		3	
都留文科			3
長野		1	
その他	4		
公立大学 計	20	25(1)	20
国公立大学 合格数	60(4)	68(3)	74(4)

※ () は過年度卒

■私立大学

大学名	令和7年度	令和6年度	令和5年度
共愛前橋国際	45	16	10
高崎健康福祉	21	14	12(3)
群馬パース	9	5	3
獨協	5	29(1)	11
文教	4(1)	6	3
千葉工業	16	6	3
青山学院	3	1	4
学習院		1	2
北里	3	3(1)	2
慶應義塾		1	2
工学院	1	1	2
国土館		1	4
駒澤	3	5(1)	3
芝浦工業	3	3	
上智		(1)	1
成蹊	2	2	4
成城	1	3	1
専修	7	6	10
中央	5	2	14
東京経済	5	2	4
東京電機	4	3	5
東京薬科	1		
東京理科	5	3	3
東洋	15	11	19
日本	24	26(1)	30(1)
法政	5(1)	7	13
武蔵	1	2	1
明治	6	3(3)	5
明治学院		2	4
立教	10	7	1
早稲田	2	1(2)	1
神奈川	7	5	4
同志社	1	1	1
立命館		2	4
関西学院	2	3	2
その他	163	170(1)	104(14)
私立大学 合格数	379(2)	353(11)	292(18)

※ () は過年度卒

〈主な指定校推薦校〉

青山学院大学 芝浦工業大学 明治大学 立教大学
学習院大学 中央大学 明治学院大学 早稲田大学 など
関西学院大学 東京理科大学 法政大学

*大学・学部につきましては変更となる場合があります。

進路実績の詳細につきましては本校Webページをご覧ください

キャリア教育 [i Program] / College and Career Counseling

渋高の「i Program」は、I (will) program (myself). の略、つまり、「私が自分自身の計画を立てる」という意味です。また「i」は interested, inspired, intelligent, inquiry, innovative, informative, independent などを表し、生徒一人ひとりが自分にとっての「i」を見つけ、進路実現に役立てるものです。

人工ビスマス結晶の色彩美の探究

渋川市立赤城南中学校出身

岩田 昊樹



みなさんは、人工ビスマス結晶を知っていますか？人工ビスマス結晶とはビスマスという元素でできた幾何学模様で表面が虹色に輝く結晶のことです。本来ビスマスとは、銀色の金属光沢を持つ金属なのに、どうして人工ビスマス結晶の表面は虹色に輝くことができるのでしょうか？主な理由としては、人工ビスマス結晶に表面に生成される酸化ビスマスと光の干渉があります。結晶が生成された時、空気中に含まれる酸素と表面のビスマスが反応することで、表面には様々な厚さの酸化被膜が生み出されます。そして、外側で反射した光と、内側で反射した光が干渉することで虹色に輝くことができるのです。では、酸化被膜の厚さを家で調節でき、均一な厚さにすることができたら好きな色のビスマス結晶が手に入るのではと、思い探究活動を行いました。今回は陽極酸化という電気分解による反応を用いて被膜の厚さの調整を行いました。結果としては、炭酸ナトリウム水溶液を用いることで安定して被膜が生成されることが分かりました。また、アルミニウムイオンの混入により被膜を生成できなくなった結晶も陽極酸化を用いることで被膜を形成することも発見出来ました。これからの展望としては、家にある身近なものだけで誰でも、簡単に人工ビスマス結晶の色を変えられる方法を見つけたいと思います。

FCEVを普及させたい！

～水素は石油に変わるのか？～

高崎市立群馬中央中学校出身

平山 直汰



皆さんは授業で地球温暖化を減らすためにどうすればいいか散々聞いてきたと思います。節電しましょう、節水しましょうなど聞いてきたと思いますが、家庭からのCO₂排出量割合の3割はガソリンと知り、車がエコになれば解決するだろうと考え、このテーマにしました。がそもそもエコな車とは、どのパワートレインのことでしょうか？EVですか？HVでしょうか？私の答えは「人による」と思います。

なぜなら、車一台ごとに用途があり役割があるからです。現在欧州ではEVを進めています。ほとんどに日本に合うのか？なぜHVではダメなのか？を考えた今回日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員会の五味先生や、東京都産業労働局水素エネルギー推進総括担当、こども家庭庁、高崎市役所環境部環境政策課の方々にそれぞれの分野から課題・認識をお答えをいただきました。そこから見てくる共通の課題や解決策から地域のインフラやニーズに合わせたFCEV（燃料電池車）を含む多様な選択肢を提供し、着実にカーボンニュートラルを目指す戦略が良いのではないかと考えました。この話を突き詰めると日本の電力供給の話や資本主義経済における初期投資の難しさ、政治、利権を強く実感しました。今後はマーケティングの世界で車購入の際にFCEVも選択肢として考えてもらえるような世界になるよう政治経済をもっと勉強したいです。だって、世の中のどんな分野でも政治・経済が絡まないものなんてないんですから。だから公共しておもしろいんですね。

国際理解教育 Global Education

渋高では、グローバル社会で生き抜くための力を育てるため、様々な機関や大学が実施する国際理解教育プログラムや海外研修への参加を積極的に勧めています。以下は昨年度の例です。

- ・アメリカ・ロサンゼルス研修（他校との合同企画） 12名参加
- ・群馬県立女子大学「国際理解授業」 1年生全員参加
- ・群馬県立女子大学「明石塾」 1名参加（2年連続）

象徴をスーパーフードへ ～「食」問題と和の象徴～

榛東村立榛東中学校出身

齋藤 隼平

～テーマ決定経緯～

突然ですが！

世界で注目されている

「食」に関する

問題は？



「僕はおむすびのおいしい国に生まれた」 これは、2025年2月におむすびアンバサダーに就任した大谷翔平選手が出演する、ファミリーマートのCMキャッチコピーです。この言葉の通り、日本には世界に誇れる食文化や映像作品が多く存在します。私は、こうした日本の文化を世界に広め、さらにその力で人々の問題を解決したいと考え、テーマを設定しました。

今回、私は日本の「茶文化」、特に「茶葉」に着目して探究を行いました。茶葉に含まれる成分を分析し、現代社会の盲点ともいえる肥満問題へのアプローチを行いました。この探究を通して、日本文化の素晴らしさと、食問題の重大性を改めて実感することができました。私たちの身の回りにおける「当たり前なもの」が、世界の問題を解決する鍵になるかもしれません。そうした考えを持って生活してみることも、面白いのではないのでしょうか。

けんた食堂から覗くシュプレマティズム

前橋市立富士見中学校出身

大林 稜



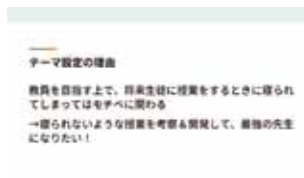
食レポのほとんどは使い古された表現を使い分けただけのめったにない体験を手渡すものとなっており、手垢のついた擬音擬声語は私をうんざりさせる。私は刺激を求めていくうちにけんた食堂と出会った。彼は近代文学に見られたそれらとは似て異なるトリッキーな表現を乗りこなし、食レポへと落とし込む。だがそれは直感に反せず自然の感覚を呼び起こす美学であるシュプレマティズムに大きく関与しているのではないかと私は思ったのだ。そこで私は400ほどの動画と100ほどのシュプレマティズム作品を鑑賞し、データとその真意を考察し、思考の棄却と動物的な感覚への適応という共通点を見出した。今後、この研究が何かにつながったりはきっとしないが誰かが「気づき」を得てくれると私は嬉しい。

生徒を眠くさせない教師になるために

～眠くなる授業とならない授業の違いから考える～

渋川市立古巻中学校出身

吉川 優斗



皆さんは、つい授業で寝てしまった経験はありますか？誰も寝てしまったり、ウトウトしてしまったりすることがあると思います。その原因は授業を受ける生徒だけにあるのだろうか？教員には原因がないのだろうか？と考えこのテーマを設定しました。加えて、私は教員志望なのですが、「生徒を眠くさせない」という意味で最強の先生になりたいという思いもあったこともこのテーマを設定した理由です。

前述した問いに対する答えを出すために私は高校生を中心にアンケートを行い、その結果と科学的根拠に基づいて眠くなりやすい授業を考えました。アンケートの結果、眠くなる授業は「一方向性」（教員しか話していない）であるという特徴があることが分かり、眠くならない授業は「双方向性」（生徒も教員も発言している）であることが分かりました。つまり生徒が発言する機会が無いから眠くなるのです。科学的に見ても発言することは交感神経を優位にし、体を活動モードに切り替えることが分かっています。これらの考察を経て私は「生徒が生徒を指名する」という授業を考えました。

今回の探究を生かして、これからより良い教員になるために精進したいです。え？渋高にはたくさん最強の先生がいるじゃないかって？その通りですが、その偉大な先生方と肩を並べたいんですよ。

「明石塾」に参加して

渋川市立渋川中学校出身

山田 雄然

私は、グローバル人材の育成をめざす、群馬県立女子大学外国語教育研究所の「明石塾」に参加し、7か月のプログラムに取り組んできました。大学での英語研修や、県内外でのフィールドワークを経て、12月にはシンガポール・マレーシアへの海外研修にも参加しました。海外研修を通して、異なる文化に触れることは、世界を知るだけでなく、自分自身を見つめ直すことにもつながるのだと思いました。この経験を活かして、今後は歴史をより広く、深く学ぶとともに、英語だけでなくさまざまな言語や文化にも関心を持ち続けていきたいです。そして、自分の将来の目標に向かって、今回得た学びを少しずつ繋げていきたいと考えています。明石塾に参加し、挑戦できる環境に身を置けたことや、その中で努力を重ねられたことは、これからの自分の大きな支えになると思います。



校内施設・学習環境 / Facility and Study Environment



生徒会長・双嶺戦実行委員長・応援団長より / Leaders' Voice



生徒会長 笹川 優太 / 前橋市立第一中学校出身

今年で創立106周年を迎える渋川高校。伝統あるこの学校では、生徒主体で考えて行動し、自分自身の進路実現に向けて日々生活を送っています。渋高の魅力はなんといっても行事に対する熱量です。体育祭や文化祭などでは毎年盛り上がりを見せています。また学習面では充実した学習環境が整っており、先生方も優しく丁寧にわからないところを教えてください。私たちと一緒に最高の青春の1ページをつくりましょう。



双嶺戦実行委員長 狩野 啓明 / 前橋市立東中学校出身

今年度、本校の歴史に新たな1ページを刻む「双嶺戦」が始まります。全校生徒が「赤城団」と「榛名団」の二団に分かれ、誇りをかけて競い合います。競技は、白熱する運動競技、創造性を発揮する文化競技、そして団結力が試される団体競技の三本柱。歴史ある伝統校が進化を遂げる今、あなたにはその第一歩に携わるチャンスがあります。共に新しい伝統を創り上げ、熱い戦いを青春の思い出に刻みませんか。



応援団長 川南 雄飛 / 前橋市立南橋中学校出身

押忍！ 未来の渋高生諸君！ 渋川高校は自由な校風が一つの特徴であるが、それが意味するところは身勝手であるということではなく、生徒の自主性を重んじるということである。そもそも高校生活自体がそうであると言えるが、渋高では特に中学校と比べて「自ら進んで動くこと」が求められる機会が多くなるだろう。我々応援団もまた、自主的に集まったメンバーで構成されている。もし渋高への入学を望むのであれば、渋高生としてその自主性を尊重し、応援団長としてその背中を押させていただこう！

在校生の声 / Students' Voice



「俺の渋高LIFE」

2年 加藤 朋由 / 渋川市立古巻中学校出身 / バドミントン部

「渋高を選んだ理由は？」入学当初の私は「進学実績がいいから。」と答えていた。ただ、今聞かれたら迷いなく「男子校だから。」と答えるだろう。

渋高は文武両道を掲げ、確実な進学実績、そして男子校ならではの熱い魂が集う高校だ。日々勉強に励み、部活動に汗を流し、仲間との青春に身を捧げ、人それぞれの夢や目標に向かって一生懸命に取り組んでいる。また行事でも団結力があり、感動あり、涙ありで最高の思い出になること間違いなしである。

渋高は人生の宝となる最高の友人を見つけられる場でもある。勉強だけでなく人としてこれから人生を歩いていく上で大切なことを見つけられる場所だ。是非、自分の目でそれらを見つけに来てください。

「最高の仲間との生活」

2年 黒岩 泰士 / 嬬恋村立嬬恋中学校出身 / 野球部

渋川高校は、自由な校風と目標に向かって行けるような環境が整っている学校です。普段の学習や学校行事、部活動など多くの場面で生徒自身が考え、一生懸命に行動しています。

自主性が尊重されているということは、その分の責任を持つということであり、自分が高い目標を定めたのなら、それに向かって日々の努力の積み重ねをしていかなければなりません。そんなとき、支え合う仲間に出会えることこそが渋川高校の一番の魅力だと思います。3年間という短い期間ですが、そこで出会えた仲間や、経験した思い出はいつまでも記憶に残る「青春」になることでしょう。皆さんも「自由の子」として最高の仲間とともに興味、関心を高め合いませんか。



「充実した3年間で」

2年 西澤 真飛 / 前橋市立桂萱中学校出身 / 陸上競技部

渋高は校風が自由で、勉強や部活動に全力で取り組むことのできる魅力的な環境が整っている学校です。厳しい校則は少ないため、生徒一人ひとりの自主性が求められます。勉強面では整った自習室があったり、多くの先生方が丁寧に教えてくださったりします。部活動では仲間たちと切磋琢磨しながら競技の技術だけでなく、自分自身の人間性も成長させていくことができます。

また、渋高は男子校です。そのため、文化祭や体育祭では男子校ならではの盛り上がりを見せます。共学では味わうことのできない楽しさがあるのも渋高の魅力です。

皆さんも渋高で充実した3年間で過ごしてみませんか。

「渋高で描く未来」

2年 平井 奏汰 / 渋川市立渋川中学校出身 / 吹奏楽部

渋川高校は今年で創立106周年を迎える伝統ある学校です。校歌にある「自由の子」を常に意識し、生徒たちが主体的に行動し、目標を叶えるために日々努力しています。そして、多くの生徒が大学進学を目標とする中で整った学習環境や先生方の手厚いサポートがあり、皆勉強に勤しんでいます。

また、渋高は他にも魅力的な所があり、文化祭などの学校行事では男子校特有の盛り上がりを見せています。そして、「双嶺戦」という新行事もでき、活気に満ち溢れています。周りに女子がいなくて心配しているそこのあなた。大丈夫です。きっと渋高で生活する中で、男子校でよかったと思えてくるはずですよ。ぜひ渋高生の一員として3年間の短い青春を最高の思い出にし、自分の夢へ突き進んでいってください。





「自由と男子」

3年 小平 巧之 / 前橋市立富士見中学校出身 / テニス部

渋川高校の魅力は「自由」と「男子」です。髪型や靴下の色に決まりはなく、このような校則は生徒が中心となって決めています。そのため、校則に縛られることなく、自由な学校生活をおくれています。

また、学習面では、わからない問題を友達同士で教え合い話し合うことで問題の理解度を高めています。学習室も充実しており環境が整っています。

渋川高校は男子校なので嫌だと思っている人が多いかもしれませんが、しかし、すぐその環境に慣れます。男子校ならではの雰囲気は最高で行事の盛り上がりは凄まじく、毎日が新鮮で楽しいです。あっという間の3年間を渋川高校で体験しませんか。



「自分らしく成長できる渋川高校」

3年 竹内 翔太 / 沼田市立白沢中学校出身

渋川高校は「自由」と「個性」を尊重してくれる学校です。自分で考え、選び、行動する力を育ててくれます。学習面では、先生方の丁寧で熱心な指導により基礎から応用までしっかり伸ばすことができます。

学校生活では、自由な校風のもとでのびのびと過ごすことができます。クラスメイトとの関わりを通して充実した日々を送り、文化祭や体育祭などの行事では生徒が主体となって取り組みます。男子校ならではの盛り上がりがあり、大きな達成感を得ることができます。

このように渋川高校は、自由を尊重しながら学習面・学校生活ともに充実した環境が整っています。高校生の大切な3年間を自分らしく成長しながら有意義に過ごしていきたいと考えています。

「挑戦」

3年 津田 俊哉 / 前橋市立南橋中学校出身 / 写真部

私は入学当初、住んでいる街から少し離れた渋高へ行くことが不安でした。3年間通い切れるのか、授業に追いついていけるのだろうか。しかし、そんな不安とは裏腹に、クラスメイトは個性的で面白く、先生方も勉強の面白さを盛り込みながら授業をしてくださるので、不安はすぐ解消されました。入学してから2年たった今も、この渋高を選んで正解だったと確信しています。

渋高は校歌の冒頭に「自由の子」とあるように、生徒と先生方との間での信頼のもとでの「自由」が尊重されています。その自由な校風のもと、勉強や部活動など、様々なことに全力で挑戦できるのが渋高の魅力だと思います。

今は「健児一千」ではありませんが、それ以上の活気や熱量が今も溢れるこの渋高で、高校生活を満喫してみませんか。



「君たちはどう過ごすか」

3年 萩原 朋希 / 渋川市立金島中学校出身 / バレーボール部

みなさん、こんにちは！僕からは高校生活に対する姿勢についてお話ししたいと思います！

今となってはスクールガイドの原稿を任されるような「優等生！」ですが、実は高校入学したては成績があまり良くありませんでした。

中学では勉強ができる方で「高校でも結構いい感じで行けるっしょ！」なんて思っていました。現実にはそう甘くありませんでした。ですが僕は心を折らずに学校の授業を全集中で受けました。するとだんだん校内テストや全国模試の結果も順調に良くなっていきました。結局何が言いたいかというと自分自身の姿勢によって渋高は天国にも地獄にもなり得るということです！「なんで男子校なんだ」と後悔することもあります。文武両道を目指せる渋高はまぎれもなく最高の学校です！未来の後輩たちよ、渋高を利用して利用しまくれ！



現役医学科合格

齋藤 諒

山形大学医学部医学科4年（前橋市立南橋中学校出身）

渋高では、何事にもしっかり取り組むことのできる環境が整っており、文武両道を実現させることができます。

特に、自習室は100周年の際に新しくなり、とても集中のできる環境となっています。また、先生方が進路のことについて親身になって考えてくださるので、安心して大学受験にも臨むことができます。渋川高校に入学して、良き仲間と共に3年間で、大きな夢を掴んでみませんか。



幅広い選択肢がある自由な学校

清水 惇太

慶應義塾大学経済学部2年（東吾妻町立東吾妻中学校出身）

渋高での三年間は非常に充実していました。体育祭、定期戦、文化祭に積極的に参加し、勉学の面でもかなり集中できたと思います。

男子校ならではの熱量、ノリがあり、良い意味で気を抜いた生活が送れるので、私個人としては、もう一度やり直したいくらい素晴らしい学校だと感じました。進路サポートも充実していますので、大学へ行きたいのか、就職したいのか目標が不明瞭な人にはとても良い学校です。是非、渋高へ入学してはいかがでしょうか。



夢に向かって

坂西 優良

新潟大学教育学部2年（沼田市立沼田南中学校出身）

渋川高校は、自由な校風が特徴であり、勉強や部活動、学校行事においても全力で取り組める学校です。

自分の進路を実現する環境もとても整っていて先生方のサポートも手厚いです。私自身もたくさんの先生方やi Programのおかげで進路をみつけ、夢に向かって努力することができました。周りの仲間を大切にしつつ切磋琢磨し、充実した高校生活を送ってください。



学ぶ

見城 光祐

東京外国語大学国際社会学部1年（みなかみ町立みなかみ中学校出身）

「学び」とは何なのでしょう。ただ学校で教えてもらった知識を吸収することでしょうか。渋川高校では、日々の授業だけではなく学びの機会が提供されて

います。友達と話すことによって得られる学び、先生に質問しに行くことで得られる学び、部活で得られる学びなど、自分の努力によって学びの機会を広げることができる学校です。また、「自由」と謳われているように、生徒たちの自由な活動も重要視されています。ただし、この自由は自分勝手やわがままとは違うものです。客観的に物事を評価し、先生の立場も考えながら物事を進めていくということが「自由」という言葉に隠された真の意味です。ぜひ、他の学校にはない「自由」な高校生活に挑戦してみてください。



挑戦

桑原 拓冬

東京大学文科三類3年（渋川市立古巻中学校出身）

学校での学習は、生徒が机に向かい勉強する行為だけに焦点が当てられがちです。しかし実際は授業

をしてくださる先生方、一緒に勉強する同級生など、様々な人とかかわりの中で成立します。ですから、学習のあり方は周囲の人や環境に大きく影響されます。渋川高校は、「自由」の校風が象徴するように、生徒一人一人が主体性を活かして学ぶことのできる場です。それは、自ら課題を設定して研究を進めるi Programの実施によく表れています。勉強でも部活でも、自分が望むなら何にだって打ち込みます。それをバックアップしてくださる先生方もいます。ぜひ、ここ渋川高校で何かに励んでみてください。その経験は、将来いつかどこかで、あなたを支え助けるでしょう。



より高みへ

星野 綾太郎

東北大学法学部2年（吉岡町立吉岡中学校出身）

渋川高校には自主的に勉強を進めることができる環境が整っています。また先生方の熱心な授業だけではなく、意欲のある同級生が多く在籍しています。勉強

だけではなく、定期戦のような学校全体が一丸となり忘れられない思い出をつくることのできる行事も多くあります。ぜひ入学して一生ものの思い出を作ってみませんか。



主体性

松井 大翔

明治大学法学部1年（中之条町立中之条中学校出身）

渋川高校は校歌の1番最初の歌詞に「自由の子」とある通り、基本的に生徒自身がその時に何をするか、何が必要かを自分で考えて自分で行動するという

力が身につくと思います。勉強も部活も強制させられることなく、自分がやりたければやればいいし、必要ならすればいいという感じで生徒の主体性を優先的に考えてくれる学校です。ただし生徒が主体的に取り組むことには先生方は全力でサポートしてくれます。これからの人生でも役立つ主体性を高めたい人はぜひ渋川高校で生活してみたいかがでしょうか。



節度ある自由

三原 昌樹

早稲田大学法学部1年（渋川市立渋川北中学校出身）

私にとって渋高の魅力は「ちょうどいいゆるさ」です。自由な校風の中にも適度な厳格さがあり、節度を守りながら自分のやりたいことに思う存分打ち込むことが

できます。生徒に多くを委ねてくれる学校なので、日々の学校生活やi Programなど、様々な場面で自主性を育む機会があります。ここで身につけた力は高校卒業後も大いに役立つと思います。最後に、私自身勉強も部活動も学校行事も、ともに頑張る仲間がいたからこそ充実した3年間を過ごせました。皆さんも、かけがえのない仲間と出会う渋高にぜひ入学してみませんか。

渋川高校アクセスマップ



群馬県立渋川高等学校

〒377-0008 渋川市渋川 678-3

TEL:0279-22-4120

FAX:0279-24-9347

URL:<https://sibukawa-hs.gsn.ed.jp>



◀ ホームページ



◀ 公式インスタグラム
(中学生およびその保護者用)